



第8次中期経営計画

2024~2026年度

2024年5月9日

証券コード:6737

EIZO株式会社

第8次中期経営計画

Visual Technology Evolution

～EIZOにしかできない映像価値を～

EIZO Business Model Development

2030 サイバー
セキュリティ
5G 生成AI
労働人口減少

2020 インフラ更新
気候変動対応

アミューズメント市場縮小

2010 ネットワーク高速化
デジタル化進展

2000

世の中の動き

Visual Technology Evolution
EIZOにしかできない映像価値を

グローバル化 &
Visual Technology Companyへ
アミューズメント縮小も収益基盤を確立

特定市場向け拡大
モニターの特化へ

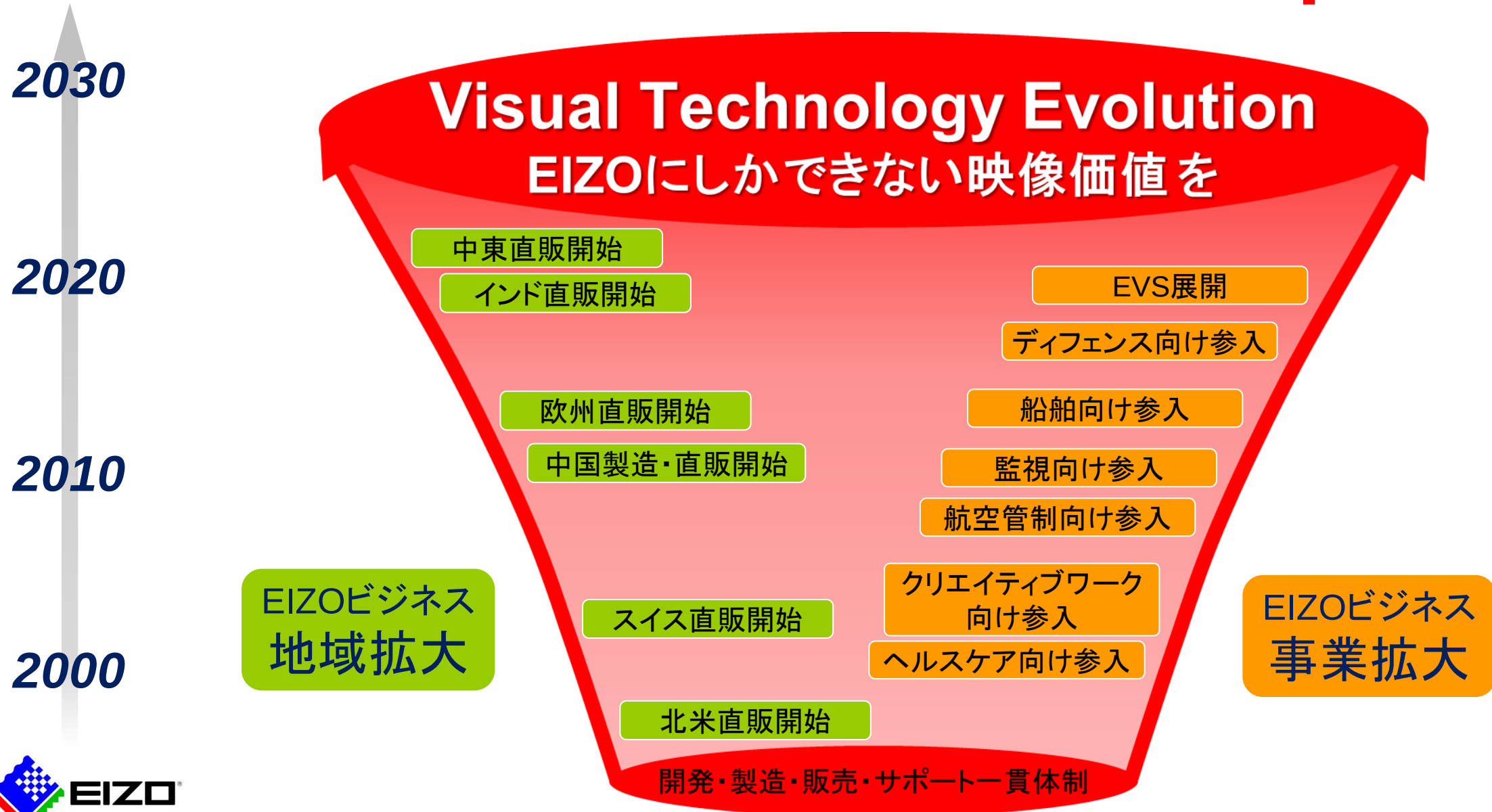
モニターとAMUのシナジー
事業基盤・財務基盤を確立

開発・製造・販売・サポート一貫体制



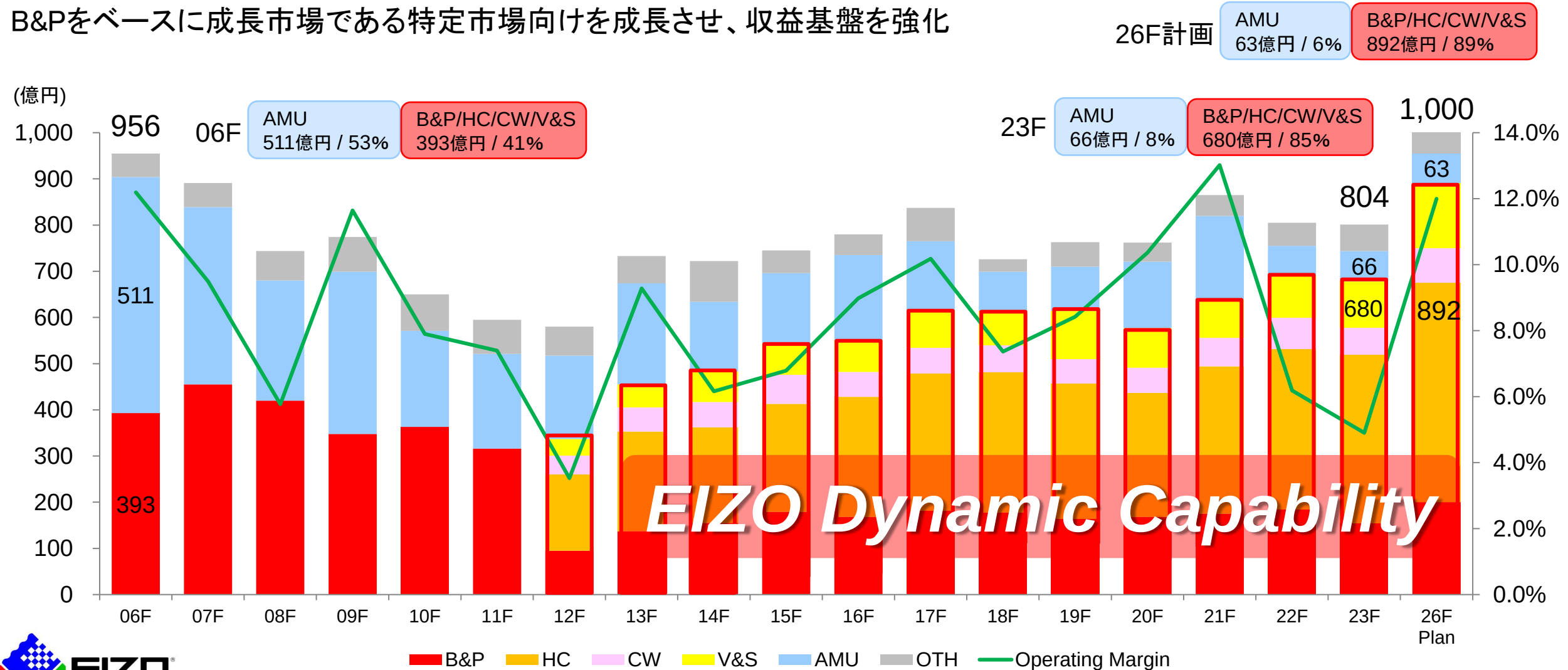
EIZOビジネス展開

EIZO Business Model Development



EIZO Business Model Development

アミューズメント市場向けが縮小する中、EIZOが保有するリソースを最大限に活用し、B&Pをベースに成長市場である特定市場向けを成長させ、収益基盤を強化



目指す姿

映像価値を最大化
社会課題解決
事業領域拡大

ビジネスモデルを更に進化・強化

Visual Technology Evolution
EIZOにしかできない映像価値を

R&D：世界No.1の“映像”を

- 市場をリードする“高品質・高信頼性”映像ハードウェア
 - 自社開発で撮影・伝送・記録・表示のイメージングチェーンを構築
- 映像価値を最大化するハードウェアとソフトウェアの融合
 - 映像の利活用をもっと便利に簡単に
- グローバル体制とローカライゼーションによる機動力で製品・サービスの提供力を強化
 - 基幹技術を日本・欧州・北米・中国に広く展開
 - 各拠点の強みを生かした開発とセミカスタム対応



製造・開発一体でものづくりを更に強く

■ 人口減少を見据えた生産自動化

- 持続的な国内生産実現し、強みである製造・開発一体体制を強化
- 人の依存度を下げつつ、多品種少量生産に機動的に対応

■ 顧客満足度向上に向け、柔軟性を高めた生産対応を実現

- より多様化する製品に対し、セミカスタム対応する新生産システム導入

■ グループ生産体制強化

- 開発体制と連動した生産対応
- 中国における中国向け生産増強



EVSによる競争力向上・事業領域拡大

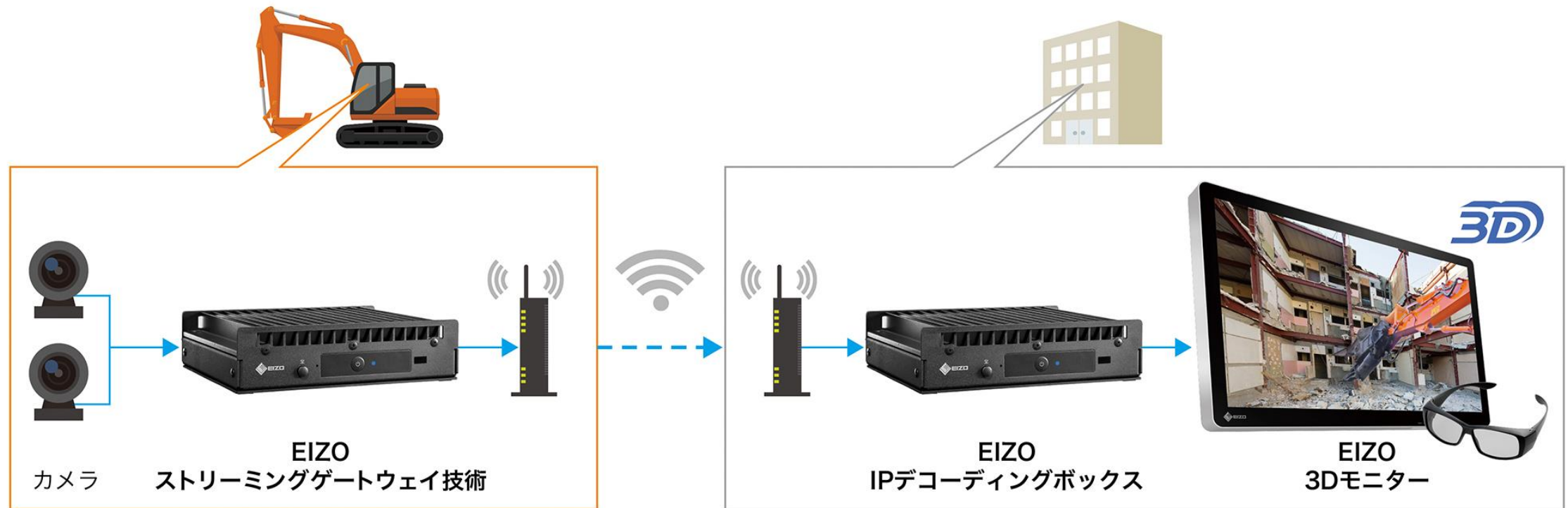
■ EIZO Visual Systems (EVS)

- ソフトウェアでハードウェアの映像価値を最大化
- ハードウェア × ソフトウェアで映像利活用を促進するパッケージ化
- 社会課題を解決するイメージングチェーンで事業領域を拡大



EVS展開事例 ①

建機遠隔操作実現 ▶▶▶ 労働環境改善を支援



EVS展開事例 ②

インフラ保全画像診断 ▶▶▶ 労働人口減少対策を支援



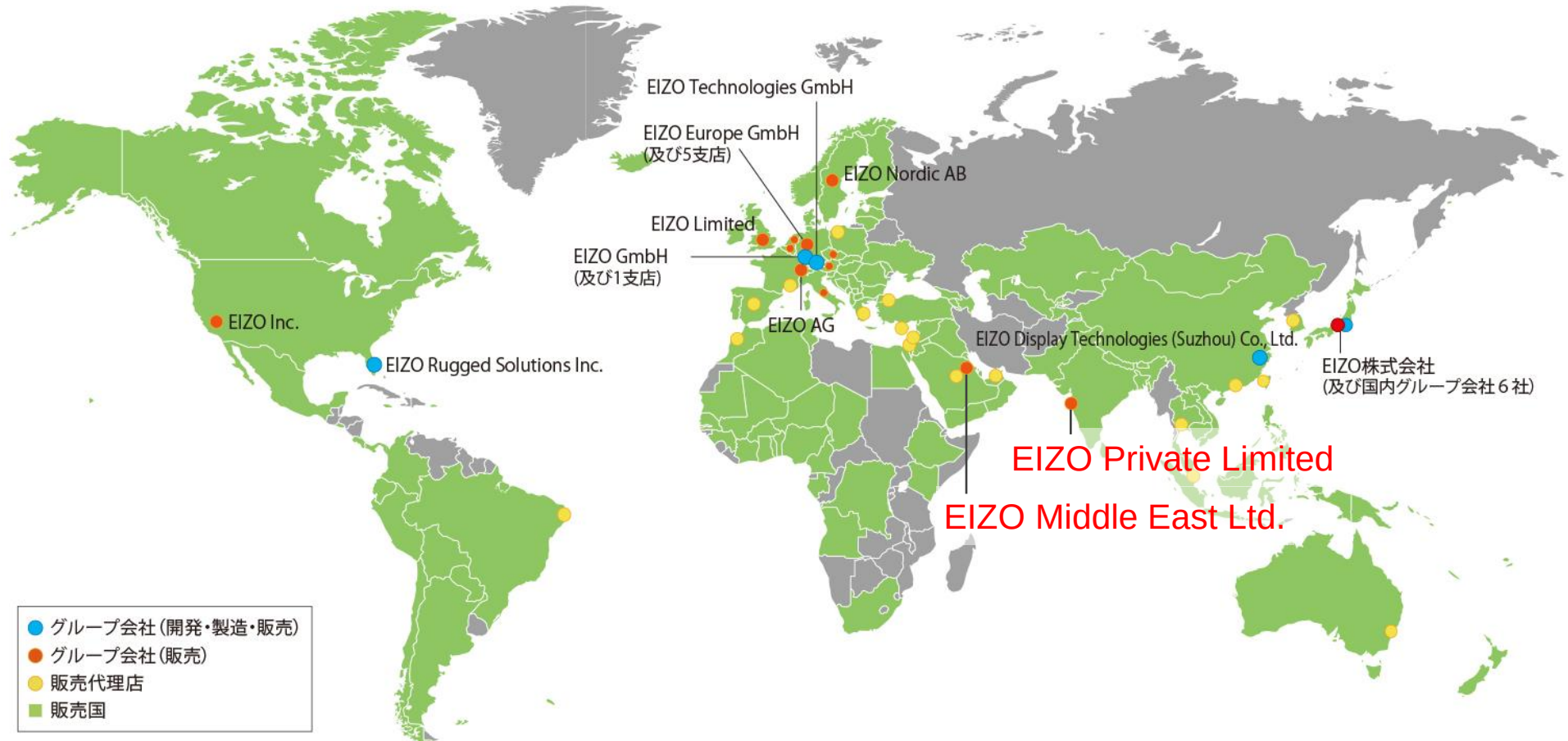
EVS展開事例 ③

術野映像記録システム ▶▶▶ 医療安全・チーム医療を支援



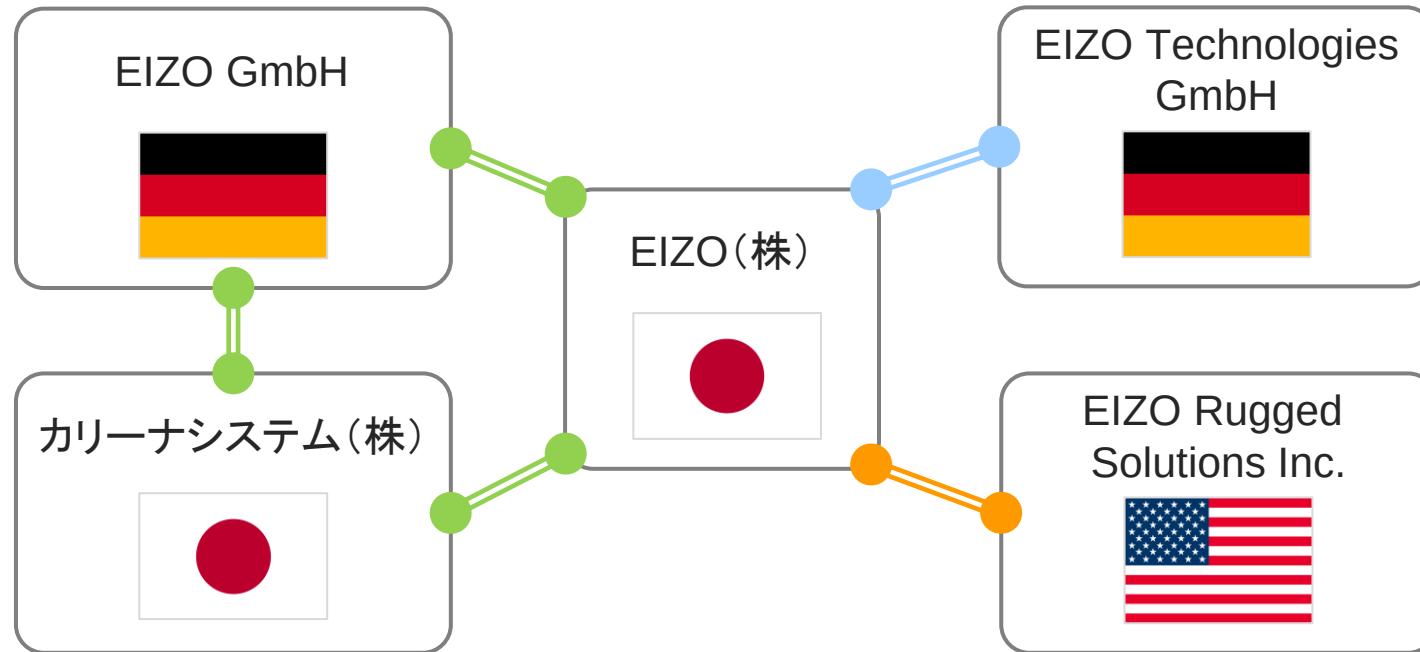
海外市場の拡大

- 欧州・米国・中国に続き、100%の販売会社EIZO IndiaとEIZO Middle Eastの設立、両社それぞれ2030年売上目標50億円



注力市場への取組強化

- ヘルスケア・V&S市場の成長に向け、開発・製造グループ会社の得意分野に事業集中、グループシナジーを最大化

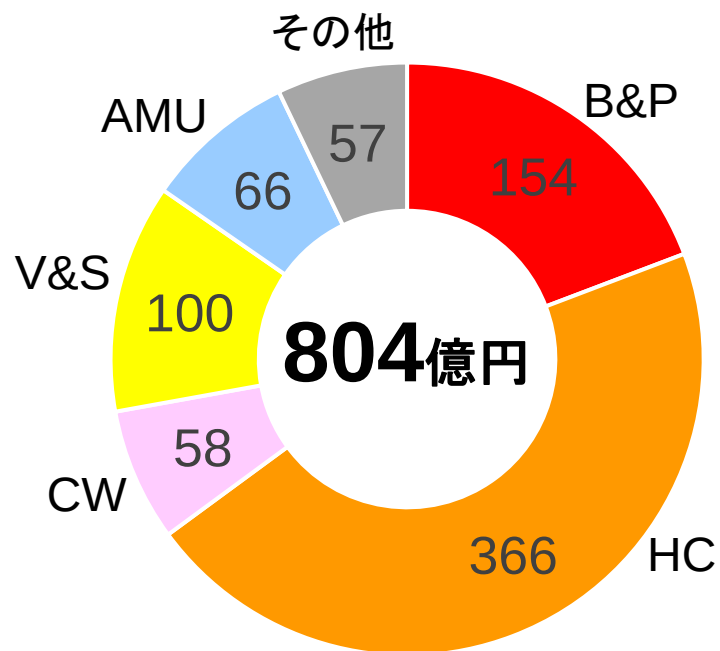


ディフェンス市場

26F数値目標

23F実績

売上高



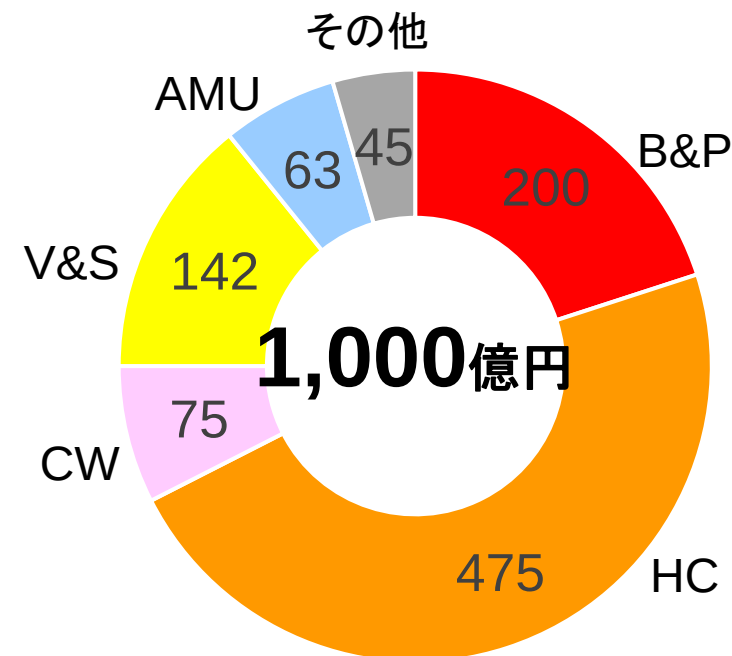
営業利益/
営業利益率

39億円 / 4.9%

ROE

4.4%

26F計画



120億円 / 12.0%

8.0%

サステナビリティ

EIZOにしかできない映像価値の提供を通じて
持続可能な社会に貢献

「映像」を通じた豊かな社会への貢献

自由闊達で創造的に活躍できる企業文化

気候変動への対応

循環型社会への対応

オープンでフェアなガバナンス

サプライチェーンマネジメント

人権・多様性の尊重

マテリアリティ

EIZOグループ行動指針

企業理念

KPI

Scope 1+2 削減(19F比)

30F:70.0%減

26F:61.5%減

24F:58.0%減

Scope3削減(19F比)

30F:27.5%減

26F:17.5%減

24F:12.5%減

KPI

製品へのリサイクルプラ使用率

30F:70%

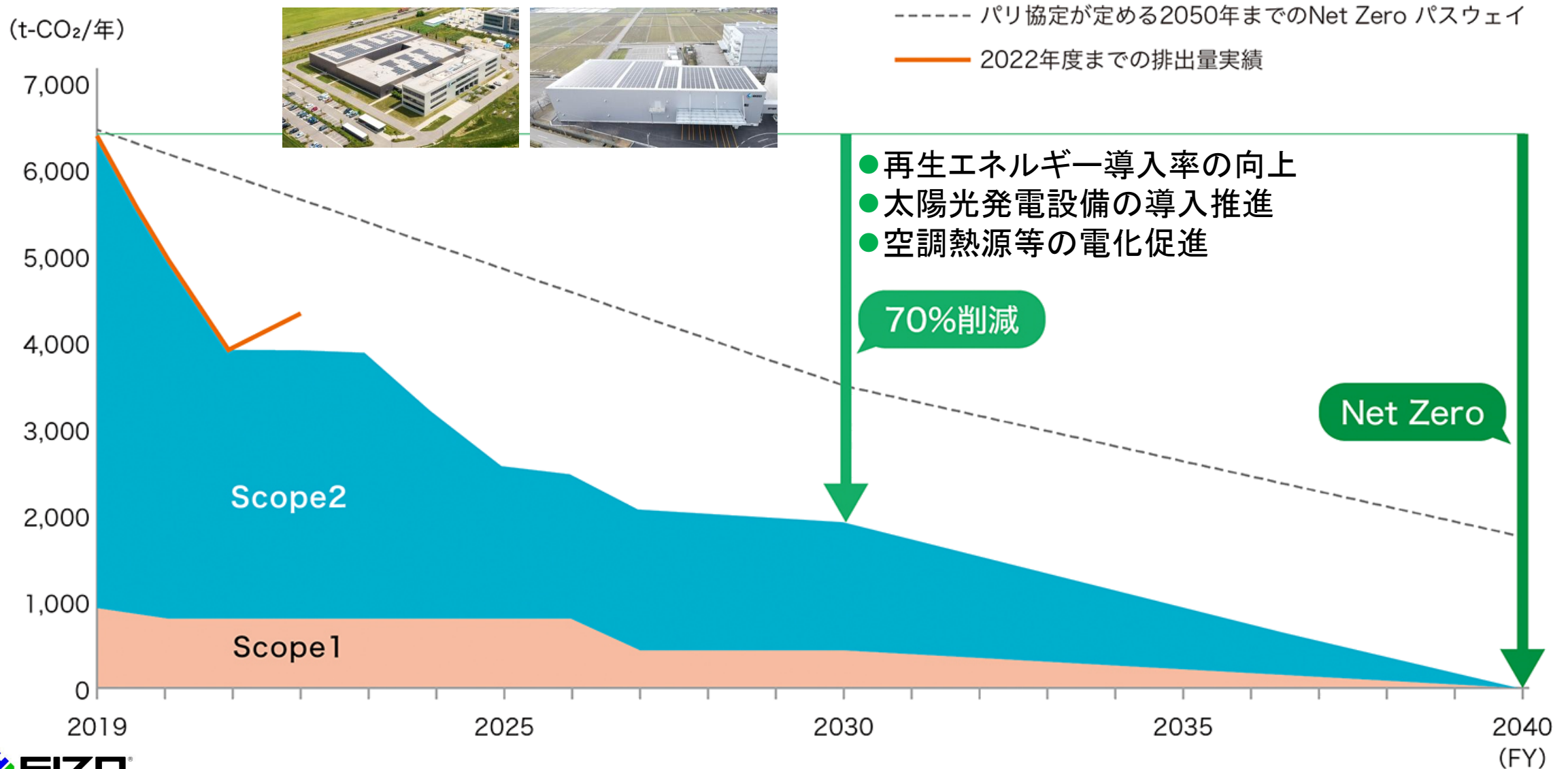
26F:45%

24F:20%

バリューチェーン上の人権リスク低減
24F~30F

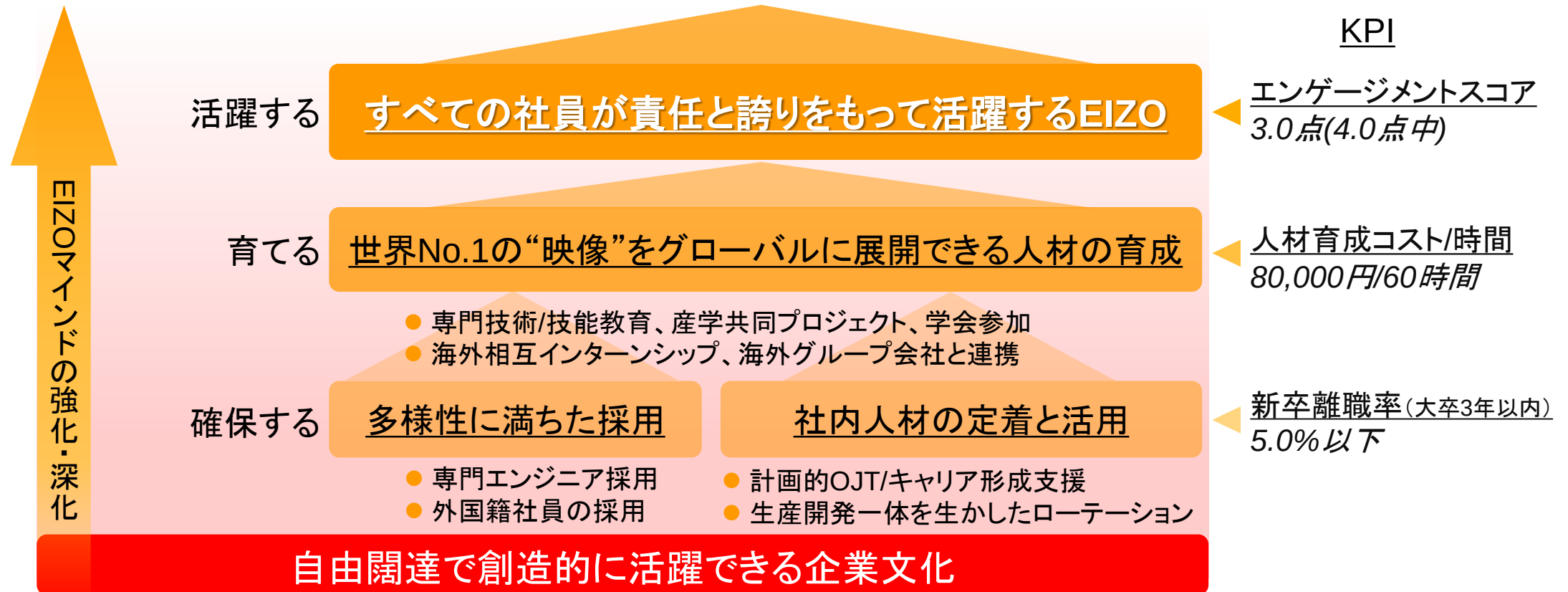
[その他のKPIや詳細:EIZO Webサイト「指標\(KPI\)と目標」](#)

低炭素移行計画 (Scope 1+2)



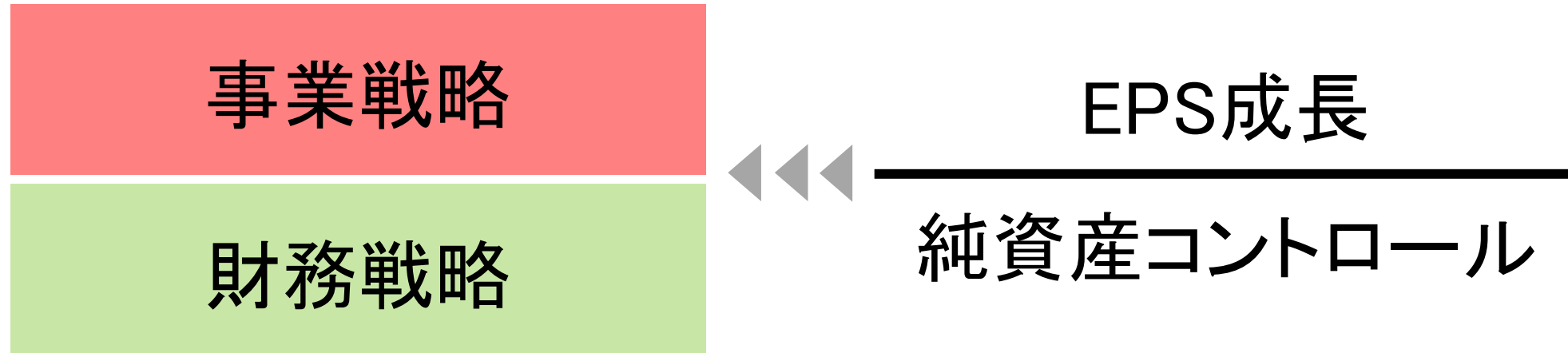
人的資本の最大化に向けて

- 映像技術のトップランナーとして、人的確保・育成に投資
- EIZOしかできない価値を届けるため、人的資本の価値を最大化



財務戦略

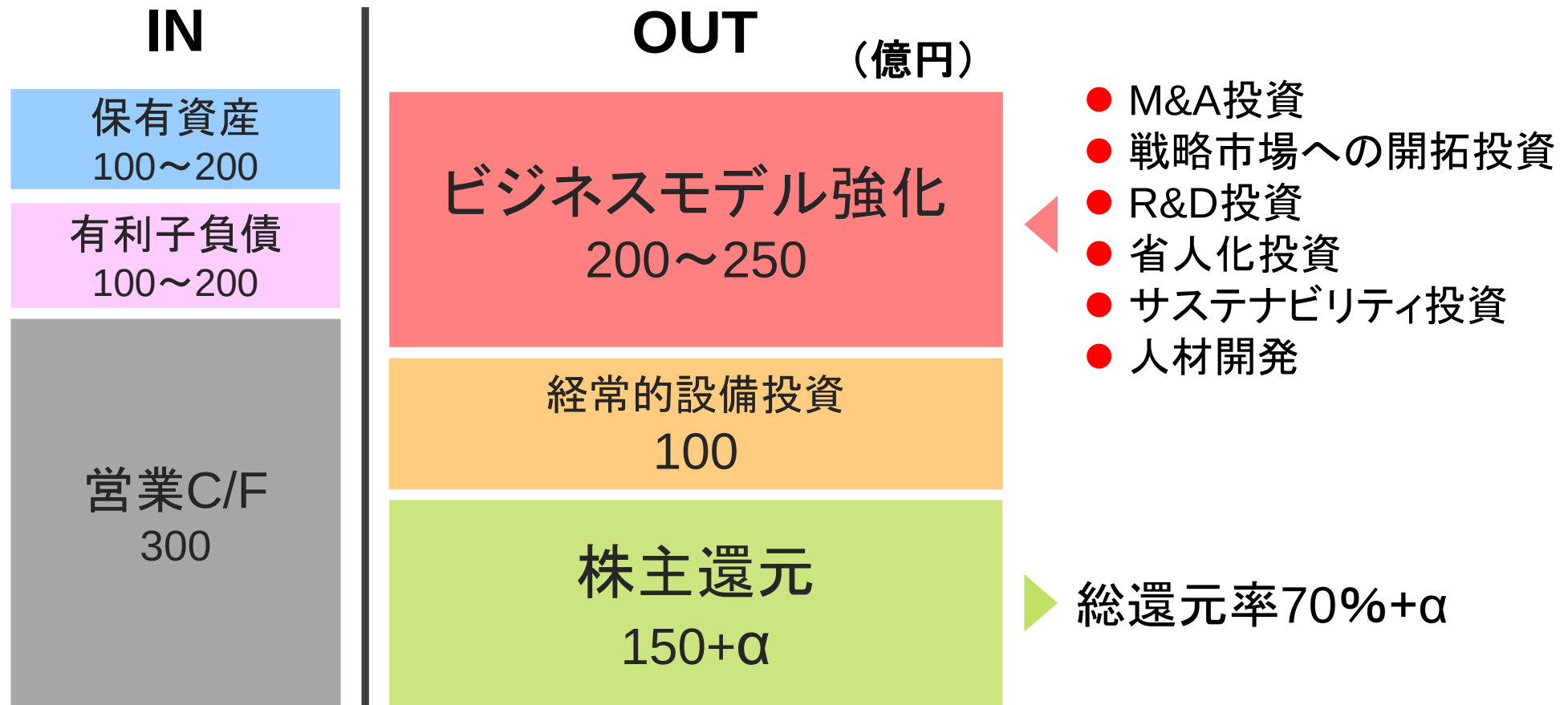
■ ROE 8%に向けて



- 財務基盤の維持 ……財務健全性を維持
- ビジネスモデル強化投資250億円 ……成長投資の積み上げ
- 株主還元強化を継続 ……総還元率70%+α

キャッシュアロケーション(24F~26F)

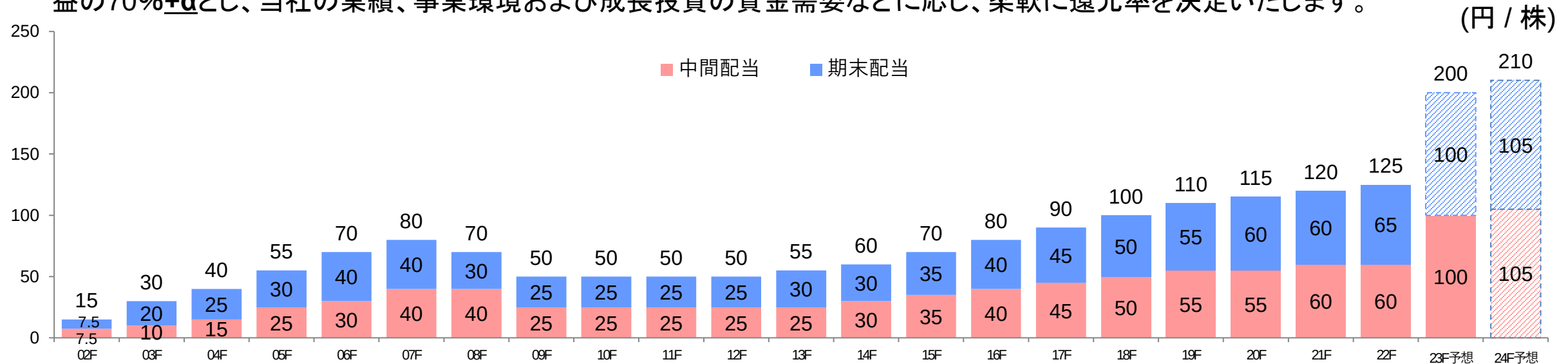
■ 中期的な企業価値に向けた成長投資と株主還元



株主還元

●株主還元方針

- 当社は、事業拡大と業績向上を通じて持続的成長を図るとともに、財務の健全性を維持しながら、株主還元を行うことを経営の重要課題と位置付けております。23Fより、株主への還元率（総還元性向）の目標水準を当期純利益の70%（従来は40~50%）へと強化しました。23Fにおいて11期連続の増配を予定しております。
- 第8次中期経営計画期間（2024-2026年度）において、株主還元の強化を継続いたします。還元率の目標水準を連結当期純利益の70%+αとし、当社の業績、事業環境および成長投資の資金需要などに応じ、柔軟に還元率を決定いたします。



配当性向	11.3%	9.5%	14.4%	17.5%	20.6%	41.0%	229.7%	22.6%	31.5%	67.5%	66.7%	21.6%	38.5%	35.5%	30.1%	26.9%	49.5%	50.2%	39.8%	32.8%	44.5%	75.4%	86.4%
還元率	11.3%	9.5%	14.4%	17.5%	20.6%	41.0%	375.2%	22.6%	31.5%	168.0%	66.7%	21.6%	38.5%	35.5%	30.1%	26.9%	49.5%	50.2%	39.8%	32.8%	92.2%	75.4%	86.4%

※22Fの還元率(総還元性向)には自己株式取得金額 28億円を含みます

注意事項

当資料には、当社または当社グループ会社の業績見通し、計画、方針、経営戦略、予定等、将来に関する記述が含まれています。これら将来に関する記述は、為替変動や需要変動、調達リスク、その他の既知・未知のリスクや不確定要素を含みますので、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、実体的に異なる場合があります。

また、当社は法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載を更新する義務を負いません。

※資料内の会計期間の表記は“F”を用いております。2024年3月期は“23F”となります。

市場区分一覧

市場区分	使用用途・場所
B&P (Business & Plus)	金融機関、公共機関、文教施設、CAD、商業施設、一般オフィス、ホームオフィス
ヘルスケア (HC)	診断・検査、治療・手術、医療IT
クリエイティブワーク (CW)	映像制作、3DCG、プロフォト、ハイアマチュアフォト、イラスト、デザイン、出版・印刷
V&S (Vertical & Specific)	社会インフラや産業機器で求められる多種多様な用途 航空管制、船舶、監視、ディフェンス、その他産業用途(タッチモニター含む)
アミューズメント (AMU)	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他 (OTH)	保守サービス及びソフトウェアの受託開発

本資料に関するお問合せ 担当：IR室 有生(ありせ) TEL：076-275-4121



www.eizo.co.jp